

様式 1

県立水戸第三高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和8年度）

学校の教育目標

三高プライドを持ち、未来の社会を担うことができる人財を育成する。
 （三高プライドとは…三高スタンダードを身につけ、何事にも主体的に取り組み、他者と共生できるしなやかな心を表す）

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
教科横断的な学びである課題探究と、自分らしい生き方と社会を関連付けながら、主体的に自己の進路を切り開いていくキャリア探究を重視することにより、未来の社会を担う人財として必要な5つの力である「三高スタンダード」を育む。 (1) 地域や社会に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識を身につけるとともに、他者との関わりや協働によって支えられていることに気付く。 (2) 地域や社会と自己との関わりから問いを見だし、その解決に向けて情報を分析し、論理的にまとめ・表現する力を身につける。 (3) 地域や社会についての探究活動に主体的・協働的に取り組むことで、社会に貢献できる人財を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・中間及び最終発表の状況、協働した資料等を評価の対象とする。 ・生徒が自身の活動について、学習活動毎にリフレクションシート、学期毎にルーブリックを用いて振り返りを行う。 ・レポート、ポートフォリオ等を用い、生徒の主体的な活動の実践について、年度毎に学年末に多面的・総合的な視点で評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の生徒の困難さに応じて、学習内容の提示の仕方や進め方等を工夫する。 ・複数の教員で指導にあたることで、生徒の実態を丁寧に把握し、よりよい学習活動が展開できるよう、適切な支援を行う。

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	[自分を知り、社会を知る] ・自己・社会 → 「絆プロジェクト」「職業探究」「身近な課題」「進路発見探究」 ・自己理解や他者理解を育む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路発見探究」→リクルート「スタディサプリ」探究辞典を活用 ・「身近な課題」→近隣地域でのフィールドワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸活動の学習意図を的確に捉え、調べ学習や話し合い等に積極的に取り組むことができる。 ・自分の考えをまとめ、相手に伝える力を養うことができる。
2年	[自分と社会の関わりを考える] ・地域・社会 → 「地域探究」「自由探究」 ・地域の魅力や課題等から問いを見出す力を育む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・IBARAKI ドリーム・パス応募 ・いばらき P-TECH 活用 ・茨城大学教授講演および茨大生によるアドバイス 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働的に探究活動を進めることで、様々な視点を持ち、課題に対して整理・分析を重ね、表現する力を身に付けることができる。
3年	[自分が関わるこれからの社会をどう創っていききたいかを考える] ・進路 → 「社会を担う人財の視点で自分の進路を探究する」 ・自己の進路を具体的に見つめ、自分が社会とどのようにつながり、どのような職業で貢献していききたいかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試説明会(生徒および保護者)の実施 ・進路講演会→希望進路分野別に分かれて実施 ・大学入学共通テストに向けた進路講演会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の進路について深く掘り下げて見つめることができる。 ・他者と意見交換をすることにより、自己実現を図る態度を養うことができる。